

株式会社ジェイコム東京 南エリア局

放送番組審議会 議事録

令和 2 年度(2020 年度) 株式会社ジェイコム東京南エリア局 放送番組審議会は、2021 年 3 月 26 日(金) 荻窪タウンセブンホールにて開催された。

【放送番組審議会委員】

板倉 徳枝 様

川副 隼平 様

金田一 秀穂 様

佐久間 ヒロコ 様

藤山 健次郎 様

山ノ内 凜太郎 様 (欠 席)

(順不同)

事業者側から J:COM 東京の概要、南エリア局の沿革、J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】 進行：佐久間議長

■ 取組み内容の発信方法について

委員

エクレシア南伊豆のオンライン面会所や日フィル二元中継など、素晴らしい地域貢献をしているのが伝わってきた。一方で、こういった取り組みを区民に発信するために具体的にどのような方法で周知しているのか。

事業者

オンライン面会所はつながるニュースで放送し、同時にど・ろ・かるアプリではアーカイブで 8 日間視聴可能であることをご案内している。また、本件は当社からのニュースリリース発信の実施に伴い、高円寺経済新聞社との連携でヤフーニュースでも掲載され、広く周知することができた。

■視聴率について

委員

視聴率の数字としては全体的には少ないと思うが、印象に残る視聴率の質のようなものを図ることはできないか。

事業者

高校野球や高円寺阿波おどり中継時には視聴者から多くの反響をいただいております、当社としても様々なご意見を参考にさせていただいている。当社としては日々の区民の活動を、現場に足を運ばなくても知ることができるという点に努めていかなくてはならない。繰り返し視聴してもらえるように、定量の数字だけでなくアンケートを実施してまた視聴してみたいと思うきっかけを探るためにアンケートの実施を検討している。

■ZOOM 等のオンラインでのつながりについて

委員

成人式がどのように開催されたか気になっていたが、ジェイコムの中継で視聴できたことが嬉しい。これはローカルニュースならではの取り組みであり、素晴らしい。

ユネスコ協会にはたくさん学生達がいる、南相馬市と繋がりたいという気持ちから ZOOM で意見交換会を実施した。コロナ禍だからこそ実現したことであり、若い人同士が行動して、色々な経験につながれば良い。

若い人たちの力でジェイコムを盛り上げられればと思う。

事業者

ご意見として参考にさせていただく。

■区の情報発信について

委員

テレビでの発信だけではなく、Youtube などのメディアミックスを連動させて発信していくことを注力しなければならない。ど・ろーかるアプリに区民が自ら写真や動画を投稿する機能が追加されたと聞いたが、区民参加という意味ではどういった効果があったか。

事業者

ど・ろーかるアプリで投稿するためにはツイッターなど SNS のアカウントが必要なので、もう少しハードルを下げる必要があると考えている。

昨年からのコロナ禍でテレビの在り方が変化している。高品質なものより、スマホで手軽に撮影したもので構成したような番組が増えてきた。それだけ国民が「撮影」するということに慣れ始めたともいえる。

ど・ろーかる内で「投稿コンテスト」のようなものを開催するなど、投稿意欲を高めるような仕組み作りを検討したい。

事業者

ど・ろーかるのアプリをどれだけ知ってもらうかが課題。現在スーパーアプリを開発し、ジェイコムすべてのサービスがひとつのアプリで連携している。これが浸透してくれば区政情報等の様々な情報を広く周知できると考えている。

■コロナ禍の取材対応について

委員

コロナ禍で取材対応に苦労されていると思う。地元の人たちの声をもっと発信してほしい。オンラインやリモートを駆使した企画を次年度にはもっと取り入れたらどうか。

事業者

訪問取材すべきかリモート取材すべきか、取材先のコロナ感染予防対策の実施有無などにもよって取材方法を見極めている。この 1 年間でオンライン、リモートでの番組制作にコツが掴めてきて質の高い番組構成などにも対応することが可能になったため、次年度には新しい企画、コーナーの実現に向けて稼働していきたい。

以上